

■登壇者略歴

【リチャード・モーシスキー / Richard Moscicki】

PhRMA 最高医務責任者(CMO) 兼

サイエンス&レギュラトリーアドボカシー エグゼクティブヴァイスプレジ
デント



リチャード・A・モーシスキー博士は、米国研究製薬工業協会(PhRMA)で最高医務責任者(CMO)、及びサイエンス&レギュラトリーアドボカシー エグゼクティブヴァイスプレジデントを務めています。

博士は、2013年から米国食品医薬品局(FDA)医薬品評価研究センター(CDER)のサイエンス部門でセンター長代理を務めた後、2017年にPhRMAに加入しました。FDAでは、CDERの業務を統括するとともに、同センターにおけるプログラムの開発・実施・管理を担当。それ以前は、1992年から2011年までジェンザイムで最高医務責任者(CMO)を務め、世界的な規制問題及びファーマコビジランス(医薬品安全性監視)、加えて同社における臨床研究や薬事に関する業務を管轄しています。2011年から2013年にかけては、サノフィジェンザイムのシニアヴァイスプレジデント兼臨床開発部長の職にありました。

ノースウエスタン大学医学部で医学博士号を取得。内科学、診断・臨床ラボ免疫学、アレルギー・免疫学の分野で委員会認定の専門家として活躍しています。マサチューセッツ総合病院(MGH)で臨床免疫学と免疫病理学のフェロースhipを経験した後に、内科の研修を修了。その後MGHのスタッフとして勤務を続け、1979年から2003年まではハーバード大学医学大学院で学部メンバーに名を連ねていました。

【クリス・フウリガン / Chris Hourigan】

PhRMA 在日執行委員会委員長



企業体質改善、サプライチェーン、生産、マーケティング、営業、事業開発、そして経営管理等、製薬企業に必要な様々な職務を経験した後、2016年1月より、ジョンソン・エンド・ジョンソンの医薬品部門であるヤンセンファーマの日本法人、ヤンセンファーマ株式会社の代表取締役社長に就任。それ以前は、ヤンセン オーストラリア&ニュージーランドのマネージング・ディレクターを務める傍ら、創薬重視型製薬企業で構成される『メディシNZ・オーストラリア』のメンバーとして、現地の産業を支援する重要な役割を担当。この他、同社のベトナム、ニュージーランド、米国の各関連法人でもリーダーシップを発揮した経歴を有している。2019年より米国研究製薬工業協会(PhRMA)在日執行委員会委員長を兼務。